



明正ゼミナールだより

2025年

— 7月号 —

寒い冬は嫌いなので春が待ち遠しいと塾だよりで書きましたが、まだ6月なのに気温が28℃で、真夏日や猛暑日の気温に達していないのにも関わらず、「あつ、あつ、まじ暑い」を連発しています。やっぱり夏も嫌いでした。私の身体はぜいたくになり、24℃でなければ満足できないようになってしまいました。それから夏は中学3年生の特訓があり、午前にその2時間の授業と夕方からの夜の通常授業が3時間、生徒を教えます。8時間勤務の人からみればたった5時間やんとなるのですが、これって結構体力もいってしんどいのです。授業の前にはテンションを上げて、今日はどこまで教えて、どう教えようか、そして授業後はクールダウンして気を落ち着かせる。この繰り返しなので、夏もしんどい季節のイメージです。

中3の夏特訓ですが、中1から中3の理科を総復習します。受験において、理科は努力が報われる教科だと思っています。大体生徒が苦手とする分野は、光、電気、天気、化学の電池、中和反応、仕事率などです。理科の物理や化学は、目に見えないものを説明しなければなりません。そのためには、いかにイメージを高めていくか、いかにすれば生徒が納得できるか、先生の手腕が試されるところであります。それにはじっくり説明したいので、1回2時間の講座がぴったりの時間なのです。原理、考え方を説明し、覚えるべきところは覚えてもらって、問題を解いてもらう。そして誤ったところは解説をする。こうして徐々に理解を深めていってもらい、最後に入試問題レベルを解けるレベルに到達するという流れであります。この夏の特訓も、明正では希望者のみを対象としています。生徒が自分の意志で親にお願いをして申し込む、そう、その自主性が人生を大きく変えていくのです。

連絡事項

7月21日（月・祝） 全クラス休塾

